



# Success is not Final, Failure is not Fatal.

— 成功は最終的なものではないし、失敗は致命的なものでもない —

令和6年度 高校第2学年 学年通信  
第6号 令和6年8月27日(火)発行

学年主任より

Long time no see. How have you been?



長かった夏休み。暑さに負けず、元気に過ごしてましたか？  
休み中は、事故や大きなケガもなく、皆さんが新学期を迎えることができたことをとてもうれしく思います。  
その夏休みも終わり、2学期が始まります。しっかり夏休み気分を抜いて、きっちり校則を守ることが忘れず！残暑に負けることなく頑張ってくださいと思います。  
その手始めが学校祭です。準備も含めて、学校祭に力を尽くしましょう！  
そして、皆さんの学校祭での大活躍に期待したいと思います。  
学校祭の後片付けが終われば、もう一度気持ちを新たに、授業に全力を注ぎましょう！  
また、高校生最大のイベントである修学旅行も10月に行われますので、こちらの準備もしっかりと行っていきましょう。

## 8・9月の行事予定

<b>8月</b>	27日(火)	第2学期始業式 後期生徒会役員選挙公示 気比校祭準備	
	28日(水)	気比校祭準備(終日)	
	29日(木)	気比校祭準備(終日)、文化祭りハーサル(敦賀市民文化センター) カウンセリング予定日	
	30日(金)	<b>気比校祭1日目(敦賀市民文化センター)</b>	
	31日(土)	<b>(募集関係) 附属中学オープンスクール</b>	
<b>9月</b>	2日(月)	気比校祭準備(終日)	
	3日(火)	気比校祭準備(終日)	
	4日(水)	<b>気比校祭2日目(本校)</b>	
	5日(木)	<b>気比校祭3日目(敦賀市運動公園体育館)</b>	
	6日(金)	後期生徒会役員選挙、教室等ワックス掛け	
	13日(金)	ホーム役員選挙(LT)	
	20日(金)	カウンセリング予定日	
	21日(土)	第2回スタディーサポート	
	25日(水)	<b>火災避難訓練(6限)</b>	
	26日(木)	45分授業	
	27日(金)	生徒総会(LT)	
<b>10月の予定</b>	1日(火) ~ 4日(金)	<b>修学旅行(東北・関東)</b>	
	21日(月) ~ 24日(金)	<b>中間考査</b>	

## 気比校祭 …… ここが見どころ!

今年の気比校祭のテーマは「桜花爛漫(おうからんまん)」です。  
笑顔の花が咲き誇る気比校祭になるように、2年生もがっばっています。



### 1日目(8/30 市民文化センター)

<b>吹奏楽部</b>	笑顔で頑張ります。皆さんと一緒に音楽を楽しんでください。
<b>ダンス・チア部</b>	みんなでたくさん練習しました。レベルアップした演技を見てください。

### 2日目(9/4 本校)

<b>美術部</b>	立体や油絵に挑戦中!! ご期待ください。
<b>書道部</b>	迫力ある書道パフォーマンスをお楽しみに!
<b>茶道部</b>	裏千家茶道のお手前を披露します。気軽にお越しください。
<b>将棋部</b>	詰め将棋の展示をします。将棋を知らない人も見に来てください。
<b>インターアクト部</b>	能登半島地震の募金活動を行います。皆さんご協力ください。

マーケット		販売部門	ゲーム部門
<b>赤団</b>	3組	Z世代にはうれしい推し活グッズや日常で使える商品を作っています。ぜひ来てください。	赤団にしかできない、絶対に楽しめるゲームを用意しました。ぜひ来てください。
<b>黄団</b>	1組、2組	メンバー全員が工夫をこらした商品作りをしています。来店をお待ちしています。	イベントを楽しんでもらえるように、一致団結してゲーム作りをしましたので、来てください。
<b>緑団</b>	4組、6組	アイデアあふれる商品を、心を込めて作っています。どのような商品があるのかは、お楽しみに。	手に汗握るゲームをご用意しています。どうぞお気軽の立ち寄りください。
<b>白団</b>	5組、7組	「PLUS ULTRA」のスローガンのもと、現状維持では満足せず、来てくれる人に喜んでもらえる店にします。	思い出になるような楽しいゲームをつくりたいです。ぜひ足を運んでください。

## 連絡

### 修学旅行に向けて

修学旅行が1ヶ月後に迫り、大きな期待を胸に日々を過ごしていると思います。こうしたときだからこそ、修学旅行は単なる「お楽しみ」のための旅行ではないということをお忘れなくしてください。  
私たちが訪れる場所は、2011年3月11日に東日本大震災に見舞われた場所です。今年の1月にも能登半島地震がありましたが、修学旅行に行く前に地震とそれに伴う被害について、一人一人がしっかりと学び直しをして、復興の現場を訪れてほしいと思います。

